



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 株式会社オプティマスグループ 上場取引所 東
 コード番号 9268 URL https://www.optimusgroup.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山中 信哉
 問合せ先責任者 (役職名) 総務・IRユニット長 (氏名) 足立 敢 TEL 03 (6370) 9268
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	16,655	48.6	979	35.1	903	28.4	617	△34.5
2022年3月期第1四半期	11,206	288.4	724	—	703	—	943	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 613百万円 (△32.7%) 2022年3月期第1四半期 911百万円 (157.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	47.77	47.42
2022年3月期第1四半期	71.28	—

(注) 1. 2022年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	46,335	14,898	32.2
2022年3月期	42,012	14,651	34.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 14,898百万円 2022年3月期 14,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	55.00	—	85.00	140.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	23.00	—	30.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,500	17.5	3,600	17.2	3,470	12.9	2,330	△8.4	178.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	16,081,605株	2022年3月期	16,081,605株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	3,145,848株	2022年3月期	3,145,848株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	12,935,757株	2022年3月期1Q	13,234,467株

(注) 当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、主要国を中心にコロナ禍からの回復は続く一方、商品価格の上昇、金融政策の引き締め、地政学リスク等により、先行き不透明感は深まっています。

当社グループの事業の中核市場であるニュージーランド経済は、2022年暦年で2.7%の実質成長率と予想されています（IMF、2022年4月）。同国では、中央銀行による継続的な利上げにより金融引き締め方針が継続されており今後の動向に留意は必要ですが、当第1四半期連結累計期間中は、ウィズ・コロナ戦略の推進もあり、堅調に推移致しました。

このような環境下において、当社グループではニュージーランドにおける環境規制（クリーンカースタンダード）導入に対応して環境適合車比率を高めるマーケティングを先行して実施し、需要に合わせたラインアップの中古自動車輸出を進めてニュージーランド市場でのシェアを維持しております。これに加え、ニュージーランドへの物流滞留の影響を前年度に引き続き他国向け輸出増によりカバーすることが出来たことで、当社グループ中核会社の㈱日貿においては、当第1四半期連結累計期間における販売台数は13,652台となり、前年同期比1.9%増となりました。また、物流セグメントの中核事業子会社であるDolphin Shipping New Zealand Limited においては、物流滞留の影響を受けセグメント売上の大部分を占めるニュージーランド向けの輸送台数は、9,677台と前年同期比14.0%減少しましたが、輸送単価の上昇や他地域向けの輸送等もあり増収を確保致しました。サービスセグメントにおいては、貿易セグメントで実施した対応が奏功し中古自動車卸売事業子会社であるTrade Cars Limitedで販売台数・販売単価ともに前年同期を上回りました。検査セグメントにおいては、ニュージーランド向けの船積前検査数量が18,390台と前年同期比20.4%減となったものの、熱処理や他地域向けの検査で収益の落ち込みをカバー致しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高166億55百万円（前年同期比48.6%増）、営業利益9億79百万円（前年同期比35.1%増）、経常利益9億3百万円（前年同期比28.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億17百万円（前年同期比34.5%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(貿易)

貿易では、前述のように販売台数は微増でしたが、環境適合車需要増を受けた販売単価の上昇がみられました。この結果、売上高は125億25百万円（前年同期比45.6%増）、セグメント利益は5億64百万円（前年同期比は19.9%増）となりました。

(物流)

物流では、前述のとおり、中核子会社であるDolphin Shipping New Zealand Limitedの輸送台数は減少しましたが、輸送単価の上昇等により、売上高は26億97百万円（前年同期比69.1%増）、セグメント利益は2億87百万円（前年同期比32.6%増）となりました。

(サービス)

サービスでは、前述のとおり中古自動車卸売事業子会社であるTrade Cars Limitedの販売台数の増加や販売単価上昇による売上増等により、売上高は33億73百万円（前年同期比54.4%増）、セグメント利益は1億46百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

(検査)

検査では、前述のとおり、ニュージーランド向けの船積前検査数量が減少したものの、熱処理や他地域向け検査で収益の落ち込みをカバーし、売上高は9億44百万円（前年同期比12.5%増）、セグメント損失は20百万円（前年同期は68百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ11.6%増加し、407億3百万円となりました。これは主に棚卸資産が17億91百万円減少した一方、現金及び預金が30億34百万円、売掛金及び契約資産が25億49百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ1.6%増加し、56億31百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10.3%増加し、463億35百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ13.3%増加し、262億71百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ23.6%増加し、51億66百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ14.9%増加し、314億37百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1.7%増加し、148億98百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,338,732	10,373,160
売掛金及び契約資産	11,310,769	13,860,047
販売金融債権	6,815,303	7,162,228
棚卸資産	5,859,863	4,067,932
短期貸付金	2,764,500	3,037,988
その他	2,508,272	2,336,986
貸倒引当金	△130,072	△134,686
流動資産合計	36,467,367	40,703,657
固定資産		
有形固定資産	3,251,078	3,313,392
無形固定資産		
のれん	54,883	51,340
その他	259,884	269,198
無形固定資産合計	314,767	320,538
投資その他の資産		
投資有価証券	1,273,546	1,287,577
その他	760,156	764,855
貸倒引当金	△54,520	△54,370
投資その他の資産合計	1,979,181	1,998,062
固定資産合計	5,545,028	5,631,994
資産合計	42,012,396	46,335,651
負債の部		
流動負債		
買掛金	814,707	704,455
短期借入金	17,877,197	21,937,408
1年内返済予定の長期借入金	1,215,512	1,061,634
未払法人税等	562,313	359,158
賞与引当金	97,246	131,842
その他	2,614,225	2,076,920
流動負債合計	23,181,201	26,271,419
固定負債		
長期借入金	3,382,877	4,328,143
退職給付に係る負債	219,250	226,050
その他	577,421	611,877
固定負債合計	4,179,549	5,166,070
負債合計	27,360,751	31,437,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	437,099	437,099
資本剰余金	1,880,457	1,880,457
利益剰余金	12,707,461	12,958,907
自己株式	△1,086,735	△1,086,735
株主資本合計	13,938,283	14,189,730
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	713,361	708,431
その他の包括利益累計額合計	713,361	708,431
純資産合計	14,651,645	14,898,162
負債純資産合計	42,012,396	46,335,651

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	11,206,496	16,655,214
売上原価	9,335,417	14,417,952
売上総利益	1,871,079	2,237,262
販売費及び一般管理費	1,146,363	1,258,078
営業利益	724,716	979,183
営業外収益		
受取利息	18,370	20,155
持分法による投資利益	29,245	—
その他	12,328	8,003
営業外収益合計	59,944	28,159
営業外費用		
支払利息	37,099	48,699
支払手数料	3,058	34,131
為替差損	40,718	12,313
持分法による投資損失	—	8,529
その他	35	19
営業外費用合計	80,911	103,693
経常利益	703,748	903,649
特別利益		
固定資産売却益	458,041	1,698
受取和解金	57	—
特別利益合計	458,099	1,698
特別損失		
固定資産除売却損	383	64
特別損失合計	383	64
税金等調整前四半期純利益	1,161,463	905,283
法人税等	218,112	287,323
四半期純利益	943,351	617,959
親会社株主に帰属する四半期純利益	943,351	617,959

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	943,351	617,959
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△29,659	△28,040
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,251	23,111
その他の包括利益合計	△31,910	△4,929
四半期包括利益	911,440	613,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	911,440	613,029
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に係る経済活動への影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	貿易	物流	サービス	検査	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,029,153	1,373,456	2,157,910	609,753	11,170,274	36,221	11,206,496
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,575,424	221,969	27,036	229,999	2,054,430	636,930	2,691,361
計	8,604,578	1,595,425	2,184,947	839,753	13,224,704	673,152	13,897,857
セグメント利益又は損失 (△)	470,780	216,879	121,562	△68,978	740,244	375,376	1,115,620

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない純粋持株会社である提出会社及び地域を統括する中間持株会社のOptimus Group New Zealand Limited、Optimus Group Australia Pty Ltdのものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	740,244
「その他」の区分の利益	375,376
未実現利益の調整額	△13,350
セグメント間取引消去	△377,554
四半期連結損益計算書の営業利益	724,716

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	貿易	物流	サービス	検査	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,279,283	2,307,190	3,349,987	669,649	16,606,110	49,104	16,655,214
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,246,171	389,884	23,648	275,277	2,934,981	650,802	3,585,783
計	12,525,455	2,697,074	3,373,635	944,926	19,541,092	699,906	20,240,998
セグメント利益又は損失 (△)	564,505	287,550	146,479	△20,923	977,611	405,862	1,383,473

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない純粋持株会社である提出会社及び地域を統括する中間持株会社のOptimus Group New Zealand Limited、Optimus Group Australia Pty Ltdのものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	977,611
「その他」の区分の利益	405,862
未実現利益の調整額	7,652
セグメント間取引消去	△ 411,942
四半期連結損益計算書の営業利益	979,183

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。